

8/28 玉川町玉一松山
念願の新設玉川橋開通

県が平成18年に着手し整備を進めていた、県道宇戸谷高梁線636号区間が完成し、関係者や地元住民ら約130人が開通を喜びました。

2車線の玉川橋(延長200m、幅員5.5m)も新設。開通記念式典とテープカットの後、玉川幼稚園・小学校の子どもたちを先頭に渡り初めをしました。

この県道は、井原市美星町と松山を結ぶ主要路線ですが、幅員が狭く大型車のすれ違いが困難で、歩行者や自転車の通行に危険が生じていました。国道180号の付け替えを含めた総事業費は、約25億円です。



テープカットで開通を祝う



玉川幼稚園児を先頭に渡り初め

8/23 マンガ絵ぶた公園
力作ぞろいの絵ぶたが練り歩く

20回目を迎える「マンガ絵ぶたまつり」(同実行委員会主催)が開催されました。

映画やアニメのキャラクター、備中神楽などを立体的にかたどった巨大な絵ぶた9基が次々と登場。その迫力に会場から大きな歓声が上がりました。「はねと」と呼ばれる踊り手が「ラッセーラー」と声を張り上げて舞い、まつりは最高潮に。葛城ユキさんのステージもありました。

大賞は「妖怪ウォッチ」(地頭絵ぶた会)。準大賞には「アンパンマン!!」(夢一夜絵ぶた会)、「一寸ぼうし」(ドリームファクトリー)が選ばれました。



力作9基がずらりと並ぶ



大賞を受賞した地頭絵ぶた会の「妖怪ウォッチ」



9/7 川上町原瀧山トライアルパーク
オートバイの妙技を競う



絶妙なアクセル操作で岩を乗り越える選手

「全日本トライアル選手権中国大会」(中国モーターサイクルスポーツ協会主催)が開催され、国内屈指の選手が技を競いました。

決められた時間内で岩などがある障害コースをいかに足をつかずに、走り抜ける技術を競うオートバイ競技で、高さ2mを超す大岩を軽々と跳び越える選手に、観客から大きな歓声と拍手が送られました。

9/9 消防署
救急業務を知ろう!



心肺蘇生法の説明を聞く母親

9月9日の救急の日に合わせて、救急業務などへの理解を深めるイベントが開催されました。

FC吉備国際大学シャルムの選手を一日救急隊長に任命。親子らと共に心肺蘇生法やAEDの実技を体験しました。保育園児は、救急車や消防車の説明を聞いて、消防署の仕事学びました。

8/13-17 高知県四万十町
被災地に給水支援



飲料水をペットボトルに入れる四万十町民

市は災害時相互応援協定に基づき、台風11号の被害で、約2500世帯が断水した高知県四万十町へ給水車(3ト)1台と職員延べ4人を派遣しました。

派遣先では、午前7時から午後10時まで住民へ飲料水の給水活動を実施しました。

本市が災害協定により職員を派遣するのは、今回が初めてのことです。

9/1 消防本部
宿泊者の安全を第一に



「表示マーク」を受ける高梁国際ホテル・石本秀司総支配人(左)

消防法令や建築基準法令に定められた防火安全の基準に適合しているホテル・旅館等であることを利用者に情報提供する「表示マーク(銀)」を市内で初めて、高梁国際ホテルに交付しました。

3階以上、30人以上収容する宿泊施設が対象。3年継続して適合した施設には、翌年に金色のマークが交付されます。



編集後記

▼行政放送で「はじめよう!ロコモ体操」という番組を制作しました。ロコモティブシンドロームとは、骨や関節などの機能が低下して、介護が必要となる危険性が高い状態を言います。ロコモ体操は、このような状況を予防するための体操で、器具を使わず、誰でも簡単にできます。今後も定期的に再放送しますので、皆さんテレビを見ながら一緒にやってみてくださいね♡ (AO)

▼市の情報発信に奔走していた山陽新聞の小谷記者が「高梁市の皆さんは、とてもいい方ばかりでした!」という言葉を残して本誌に異動しました。ずっと住んでいると、なかなか気付きませんが、本当にうれしい言葉です。もうすぐ、ヒルクライムレース。今年も選手に喜んでもらえる大会になるでしょう。 (KH)

▼松山踊りをはじめ、各地域で開催された夏祭りも一段落。10月には高梁市発足10周年記念式典にヒルクライム大会、各地域では秋祭りが予定されています。目まぐるしく変わる日々の状況やこれからの高梁をお伝えする広報紙。市民の皆さんに必要な情報を分かりやすくお伝えしなければ...と使命感を胸に、これからも頑張っていきたいと思っています。 (KY)